

2009年度

科目名	文献講読Ⅰ		
担当教員	吉原 忠雄		
配当	文財2	コード	34310
開期	前期	講時	水曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	日本美術史研究に必要な基礎的文献の理解		
目的と概要	日本美術史研究には、様式・図像とともに文献の理解が欠かせない。昨年は『日本書紀』『続日本紀』など飛鳥時代から奈良時代の文献から美術史に関する箇所を抄出したが、本年度は空海の『請来目録』、『日本後紀』や貴族の日記などからの関係箇所の理解に努める。		
成績評価法	平常点と部分的な課題に対する答え方と試験の結果により評価する。		
テキスト	プリントを用意する。		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	予めプリントの短い箇所を割り当てるので、その箇所を読み、説明できるように準備すること。		
講義計画			
1オリエンテーション 2空海『請来目録』 3空海『請来目録』 4『神護寺承平実録帳』 5『神護寺承平実録帳』 6『天台宗延暦寺座主円珍伝』『宇治拾遺物語』 7黒石寺薬師如来坐像・慈尊院弥勒仏坐像・東寺千手観音立像納入椀の銘文 8『菅家文草』 9『日本文徳実録』 10『定家朝臣記』『中外抄』 11『長秋記』 12『栄花物語』 13『吾妻鏡』 14『浄瑠璃寺流記事』 15まとめ			